

事業所名

ココロブルーム

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R7 年

6 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたち一人ひとりの特性や発達状況を適切に把握し、将来の自立を目指した支援を行います。ご家族と一緒に、子どもたちの発達や生活をサポートします。						
支援方針		特性や発達状況を適切に把握し一人ひとりに寄り添った方法で支援します。 小さな成功体験を積み重ねて自己肯定感を高めます。 将来の自立を目標に子どもたちの発達や生活を支援します。 発達や子育ての悩みについてご相談に応じます。						
営業時間		10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>入室時に本人の健康状態を確認するとともに、家族からの聞き取りにより心身の状態を把握します。また、心身の異変がある場合は自発的に意思表示できるよう支援します。</li> <li>衣服の着脱、身支度、排泄などの基本的な生活習慣を支援します。</li> <li>先の見通しを立てたり、周囲からの刺激を調整したりすることで本人にとってわかりやすい生活環境となるよう、必要な配慮を検討します。</li> <li>自己理解を深め、自己の行動や感情を調整し、より良い生活環境を作り上げていけるように支援します。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>指先を使う遊びや活動を通して、手指の運動機能の向上を図り、日常生活の自立につながるように支援します。</li> <li>体全体を使う遊びや活動を通して、姿勢保持やバランス感覚などの向上につながるように支援します。</li> <li>姿勢保持や手指の運動機能の状態に応じた、適切な資材を活用します。</li> <li>感覚の偏りに配慮し、環境調整や用具の使用、本人との関わり方などを検討します。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動を通して、物の機能や属性、色、形、大小、長短、数などの本人に必要な概念形成を図ります。</li> <li>スケジュールを示し、活動の内容や流れのイメージを持って、活動できるように支援します。また、活動の追加や中止などの予定の変更に対応できるように支援します。</li> <li>時計やタイマー、材料の量などで活動の終わりを理解し、活動を切り替えられるように支援します。</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉によるコミュニケーションだけでなく、絵カード、ジェスチャー等の代替コミュニケーション手段を活用し、相手に要求や援助要求、拒否などができるように支援します。</li> <li>他者へ要求や拒否をするときに、相手の注目を引きつけたり、相手の方を向いて話をしたりできるように支援します。</li> <li>言葉や文字、絵などを活用し、相手の意図や本人の考えを整理し、相手の思いを理解したり、自分の考えを伝えたりできるように支援します。</li> <li>様々な活動を通して、関連する物事の名称や様子、気持ちを表す言葉、文章の構成や会話の仕方などの習得を支援します。</li> <li>ロールプレイ、レクリエーションゲームなどを通して相手との関係性や場の状況に応じて、円滑にコミュニケーションを図ることができるように支援します。</li> <li>読み書きの特性に応じ、理解や表出の方法を選択したり、補助具を活用したりすることを検討します。</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の興味のある活動や遊びに寄り添い、人に対する安心感や信頼感を育むように支援します。</li> <li>支援者や友達の動作や遊び方をモデルにして活動する機会を設定し、他者への社会性や対人関係の芽生えを支援します。</li> <li>小集団活動やペア学習を通して、関わり方や社会的なルール、振る舞い方を理解し、集団活動に参加できるように支援します。また、他者の感情について理解できるように支援します。</li> <li>気持ちのコントロールや心身のリラクゼーションの方法を提案します。</li> </ul>						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援場面の参観の機会を提供し、本人の特性について共通理解を持ち、環境調整や関わり方などについて話し合う機会を持ちます。</li> <li>生活の自立を促すため、家庭での様子を把握し、家庭の環境調整や関わり方などについて提案します。</li> <li>視覚支援グッズの作成をサポートします。</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>本人支援の内容に関して、地域の生活を見据えた支援目標を設定します。</li> <li>就学先の学校と本人の特性について共通理解を持ち、関わり方について、情報提供の機会を持ちます。</li> </ul>	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>園を訪問し、本人の特性について共通理解を持ち、関わり方について、情報提供の機会を持ちます。</li> <li>障害児相談支援事業所や他の障害児通所支援事業所と本人の状態や関わり方について情報共有の機会を持ちます。</li> <li>児童相談所やこども家庭センター、医療機関などの関係機関と本人の状態について情報共有の機会を持ちます。</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ毎日できる限り職員会議を行い、情報共有を密に行います。</li> <li>虐待防止、安全対策委員会等を毎月実施します。</li> <li>外部の研修会に積極的に参加し、職員間で情報を共有します。</li> </ul>	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練（火災、地震、水害）を行います。</li> <li>季節に応じた教材を提供します。</li> </ul>						